表1－1　道路緑化で用いる樹種の候補種

番号	樹種名	科名	分類	広葉・針葉	常落別	地域適応性					環境ストレスに対する抵抗性・性質						適応場所					景観特性			その他の制限要因				解説
						道南	道央	道東	道北	自生域での植栽	耐雪害	耐寒害	耐潮性	耐風性	耐公害性	耐虫害性	歩道	中央分離帯	環境施設帯	路傍	歩道幅員	花	実	紅葉	大木化注意	維持管理	危険要因	迷惑要因	
B1	アオダモ	モクセイ	自生	広葉	落葉	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	◯	○		○	○	中	△	－	－	0				剪定はあまり必要がない。花は大変美しいが、7年前後の間隔でしか開花しない。
B2	アズキナシ	バラ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	○		○	○	中	○	○	○	0			△	剪定はあまり必要ないが、伸びすぎた枝などを詰める。葉裏にアブラムシなどが付きやすく、幹にスス病が発生することがある。
B3	イタヤカエデ	カエデ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○		○	○	中広	△	0	○	0				強剪定をすると枝が暴れやすいが、カエデの仲間では環境特性は最も強い。
B4	イヌエンジュ	マメ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	中	○	0	0	0		△	△	ときにアブラムシが発生し、液状の排泄物で道路が汚れることがあるので、注意が必要。
B5	エゾヤマザクラ	バラ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	中広	◎	○	○	0		△		成長すると樹冠が広がるため、街中の狭い街路には向かない。胴枯病を初めとする各種病害虫に弱く、寿命が短い。
B6	オオバボダイジュ	シナノキ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	中広	－	0	○	0				シナノキに似ているので、混じって植えられることがあるので、注意が必要。
B7	カシワ	ブナ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○		○	○	○	－	－	○	0	0			△	剪定は好まない。大木となる場合もある。
B8	カツラ	カツラ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	△	○	×	○	△	△	○	○	○	○	中広	－	－	○	△				自然樹形は卵形で整っているが、大木となるため、樹形のコントロールは不可欠である。
B9	キタコブシ	モクレン	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	○	○	○	○	中広	◎	－	－	0		△		移植時に根系の回復にはやや時間がかかる。
B10	ケヤマハンノキ	カバノキ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	中	－	△	－	0				根に根粒菌が付くため、貧栄養の場所でも育つ。しかし、鑑賞価値としては乏しい。
B11	シナノキ	シナノキ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	中	△	△	○	0				オオバボダイジュに似ており、混じって植えられることがあるので注意が必要。
B12	シラカンバ	カバノキ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	中広	－	－	○	△		△	×	花粉症の原因となるため、花粉を作らない品種を導入する。大木となる。樹幹の痛みや早く寿命が短い。
B13	トチノキ	トチノキ	自生	広葉	落葉	○	○	△	△	△	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	広	○	○	△	△			△	大木となる。枝数が少ないので、強度の剪定では樹形が整わない。
B14	ドロノキ	ヤナギ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	×	△	△	◯			○	○	－	－	－	△	△		△	△	大木となる。
B15	ナナカマド	バラ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	△	○	○	○	○	中	○	◎	◎	0		△		剪定は好まない、できるだけ自然樹形で育てる。傷口から病気が進入しやすく比較的短命な樹種。
B16	ハウチワカエデ	カエデ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○		○	○		中	－	－	◎	0			△	樹高も高くならず、比較的コンパクトな街路樹に仕上がる。枝枯れが多い。
B17	ハクウンボク	エゴノキ	自生	広葉	落葉	○	○	○	△	△	○	○	×	○	△	△	○	○	○	○	狭中	◎	△	△	0				比較的コンパクトな街路樹に仕上がる。自然樹形が整っており、ほとんど手入れがいらない。
B18	ハシドイ	モクセイ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	狭中	○	－	△	0				花の少ない時期に開花する。樹形が整わない場合がある
B19	ハルニレ	ニレ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	広	－	－	△	△				大木となる。根が横に大きく広がる。
B20	ミズナラ	ブナ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○		○	△	○	○		○	○	広	－	○	△	△			△	大木となる。根が横に広がる。
B21	ヤチダモ	モクセイ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	広	－	0	○	△			△	大木となる。
B22	ヤマモミジ	カエデ	自生	広葉	落葉	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	○		○	○	狭中	－	－	◎	0				自然樹形が整っており、管理の手間があまりかからない。適度に枝透かしを行わないと、樹冠が密になりやすい。
B23	ケヤキ	ニレ	移入	広葉	落葉	○	△	×	×	×	△	△	×	○	×	△	○	○	○	○	広	－	－	○	△			△	大木となる。
B24	サトザクラ	バラ	移入	広葉	落葉	○	○	△	△	×	△	△	△	△	×	×	○	○	○	○	中	○	－	△	0		△	△	たくさんの品種があるが、耐寒性に乏しい品種が多い。
B24-2	ヤマボウシ	ミズキ	移入	広葉	落葉	○	○	×	×	×	○	○	×	△	×	○	○		○	○	狭中	◎	◎	○	0			△	剪定は好まない。あまり大きくならない。
B25	アカナラ	ブナ	外来	広葉	落葉	○	○	○	△	×	○	○	△	○	△	○	○		○	○	広	－	○	○	△			△	大木となる。ドングリも大量に落とす。
B26	イチョウ	イチョウ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	×	△	○	△	○	○	○	○	広	－	○	◎	△			△	大木となる。大変丈夫な樹種で強剪定にも耐えられる。質の厚い落ち葉が大量に落ちるのが嫌われる。
B27	サトウカエデ	カエデ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	×	○	△	○	○	○	○	○	中	－	0	△	△				大木となる。
B28	シダレヤナギ	ヤナギ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	×	△	△	×	○	○	○	○	広	－	－	△	△	△	△	△	大木となる。過度の剪定は本来の樹形を損ない、鑑賞価値がなくなる。現在では苗木生産が少ない。
B29	シンジュ	ニガキ	外来	広葉	落葉	○	○	△	△	×	△	△	×	△	○	○	○		○	○	広	0	○	△	△	△	△	△	大木となる。道内では苗木の生産は行われていない。
B30	ニセアカシア	マメ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	△	△	○	△	○	○	○	○	中広	○	0	△	△	△	△	×	大木となる。強剪定は避ける。
B32	ノルウェーカエデ	カエデ	外来	広葉	落葉	○	○	△	△	×	△	○	△	△	△		○	○	○	○	中	－	0	0	0				いくつかの品種があるが、市場性に難がある。
B31	ネグンドカエデ	カエデ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	中広	0	0	△	0	△	△	△	成長は極めて早く、根が浅く、樹幹の傷みも早い傾向がある。現在は苗木の生産量は少ない。
B33	パラソルアカシア	マメ	外来	広葉	落葉	○	○	○	△	×	○	○	△	○	△	○	○	○			中	－	－	△	0	△	△	△	強剪定は避ける。大木となる場合がある。生産がないので、入手困難。
B34	ヒメリンゴ	バラ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	△	△		○			○		○	○	狭	○	○	△	0		△	×	花や実は十分楽しめる木であるが、毎年の剪定や病害虫対策などの管理が必要。
B35	プラタナス	スズカケノキ	外来	広葉	落葉	○	○	△	△	×	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	広	－	○	△	△	△		△	大木となる。葉が大きく、樹皮も大量に剥がれて、苦情の原因になりやすい。
B36	ポプラ類	ヤナギ	外来	広葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	広	－	－	△	△	△	△	△	大木となる。
B37	ルブルムカエデ	カエデ	外来	広葉	落葉	○	○	△	△	×	△	○	△	△	△	○	○	○	○	○	中	－	－	○	0				管理手間が少なくて済む。強剪定は避ける。市場性は少ない。
C1	アカエゾマツ	マツ	自生	針葉	常緑	○	○	○	○	△	◎	○	△	△	×	○		○	○	○	－	－	○	－	△		△		大木となる。枝は広がらず、樹形は整いやすい。根の広がりは大きい。防雪林にも用いられる。
C2	イチイ	イチイ	自生	針葉	常緑	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	○	○	○	○	小	－	○	－	0		△		樹形（枝振り）が個体によって異なり、樹形が整った並木は難しい。成長はきわめて緩慢。刈り込みや冬囲いなどに手間がかかる。
C3	エゾマツ	マツ	自生	針葉	常緑	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△		○	○	○	－	－	○	－	△				北海道の木。大木となる。
C4	キタゴヨウマツ	マツ	自生	針葉	常緑	○	○	○	△	△	△	○	○	○	△	△		○	○	○	－	－	○	－	△		△		大木となる。
C5	トドマツ	マツ	自生	針葉	常緑	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△			○	○	－	－	○	－	△		△	△	大木となる。根は横にも広がる。防雪林にも用いられる。
C6	アカマツ	マツ	移入	針葉	常緑	○	○	△	△	×	×	△	○	△	△	△	○	○	○	○	中	－	○	－	△		△		大木となる。樹形はきれいには整わない。
C7	カラマツ	マツ	移入	針葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	△		○	○	○	大	－	△	○	△		△		大木となる。
C8	クロマツ	マツ	移入	針葉	常緑	○	△	×	×	×	×	△	○	○	○	△	○	○	○	○	中	－	○	－	0		△		樹形は整わないので、整った並木は難しい。耐寒性はあまりない。
C9	チョウセンゴヨウ	マツ	移入	針葉	常緑	○	○	○	△	×	△	○	×	○	△	○			○	○	－	－	○	－	△		△		大木となる。根は横にも広がる。
C10	バンクスマツ	マツ	外来	針葉	常緑	○	○	○	△	×	×	○	△	○	△	△		○	○	○	－	－	○	－	0		△		樹形が整わないので、きれいな並木にするためには、適度な剪定が必要である。
C11	プンゲンストウヒ	マツ	外来	針葉	常緑	○	○	○	○	×	○	○	△	○	△	△		○	○	○	－	－	○	－	△		△		大木となる。根は大きく横に広がる。強度の剪定は避ける。
C12	メタセコイヤ	スギ	外来	針葉	落葉	○	○	○	○	×	○	○	△	○	△	△			○	○	－	－	△	○	△			△	大木となる。
C13	ヨーロッパアカマツ	マツ	外来	針葉	常緑	○	○	○	△	×	△	○	×	○	△	×	○	○	○	○	大	－	○	－	△		△		大木となる。樹形は不整形で、整った並木は難しい。根は横に広がる
C14	ヨーロッパクロマツ	マツ	外来	針葉	常緑	○	○	○	○	×	△	○	△	○	○	×	○	○	○	○	大	－	○	－	△		△		大木となる。根は横に広がる。
C15	ヨーロッパトウヒ	マツ	外来	針葉	常緑	○	○	○	○	×	◎	○	×	○	△	○			○	○	－	－	○	－	△		△		大木となる。街路樹としては少なく防雪林に用いられる。根は大きく横に広がる。

※1 地域適応性については、「北海道の緑化樹木の地域適応性」をもとに一部修正している（赤文字部分）。空欄は記載のないもの。

※2 針葉樹と広葉樹の分類は、厳密には葉脈の形態で判別し、それが平行状のものが針葉樹、網目状のものが広葉樹とされる。「イチョウ」は分類上、針葉樹と同じ裸子植物であるが、葉の形態から広葉樹として取り扱っている。

※3 網がけの黄色は移入種、橙色は外来種を示す。

※4 歩道幅員、景観特性、解説については、東京都建設局「平成30年度道路工事設計基準」の樹種選定リスト【主要45種】(2018)、「札幌市　街路樹特性表2015」の樹冠区分と、地方独立行政法人北海道立総合研究機構「みどり豊かな街路樹の造成マニュアル」(2017)等を参考にまとめた。

※5 大木化注意：自生状態の樹高が20mを超える木、もしくは通常使用される高所作業車の揚程12m級で到達可能な街路樹樹高の目安を10mとし、10mを超える木を「大木化」と表記した。

記号の記載は、特に優れている◎、よい○、ある・中程度△、劣る×、特になし －　適応場所やその他の制限要因については該当項目のみ印を記載した